

1.1 試験区分①

区分 区市名	小学校における特定の教科を対象とした選考の実施																
		○の場合の特定の教科										○の場合の受験資格					
		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	の特定の 教員の 免許状 の中 の両方 を所持	「小学校」と 「左記の 中学校」 の教員 免許 所持	左記の 特定の 教員の 免許状 の所持	その他	具体的に	
01 北海道																	
02 青森県																	
03 岩手県																	
04 宮城県	○										○	○					
05 秋田県																	
06 山形県	○										○				○	「小学校」と「左記の特定の教科の中学校又は高等学校」の教員免許状の両方を所持	
07 福島県																	
08 茨城県	○			○	○							○					
09 栃木県	○										○	○					
10 群馬県																	
11 埼玉県																	
12 千葉県																	
13 東京都	○				○						○				○	「小学校」と「左記の特定教科の中学校又は高等学校」の教員免許状を所持	
14 神奈川県																	
15 新潟県																	
16 富山県																	
17 石川県																	
18 福井県																	
19 山梨県																	
20 長野県																	
21 岐阜県																	
22 静岡県																	
23 愛知県																	
24 三重県																	
25 滋賀県																	
26 京都府																	
27 大阪府																	
28 兵庫県																	
29 奈良県	○										○	○			○	次のいずれかの資格を取得 ・実用英語技能検定(日本英語検定協会) 準1級以上 ・TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点以上 ・ " CBT213点以上 ・ " iBT 80点以上 ・TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会) 730点以上(公開テストに限る)	
30 和歌山県																	
31 鳥取県	○										○		○		○	実用英語技能検定準一級程度以上の資格の基準を満たす者	
32 島根県	○			○	○						○	○				外国語は、中学校教員免許状「英語」または2年以上のALT経験か海外留学・勤務経験のある者	
33 岡山県	○			○	○						○	○			○	外国語については、英検等の資格取得又は中・高の英語教諭免許状を条件としている。	
34 広島県																	
35 山口県																	
36 徳島県																	
37 香川県																	
38 愛媛県																	
39 高知県																	
40 福岡県																	
41 佐賀県	○			○	○						○	○			○	特別支援教育	
42 長崎県																	
43 熊本県																	
44 大分県	○			○	○		○			○	○	○					
45 宮崎県	○									○	○				○	「小学校」と「左記の特定の教科の中学校又は高等学校」の教員免許状の両方を所持	
46 鹿児島県																	
47 沖縄県																	
48 札幌市																	
49 仙台市																	
50 さいたま市	○						○				○	○	○	○			
51 千葉市																	
52 横浜市																	
53 川崎市																	
54 相模原市	○										○				○	中・高の英語の免許、もしくはCEFR-B2レベルの英語の資格を有するものを募集	
55 新潟市																	
56 静岡市																	
57 浜松市																	
58 名古屋市																	
59 京都市	○				○						○	○			○	・「理科・外国語(英語)」ともに、取得見込でも受験可。 ・併せて、外国語については「高等学校英語の免許の保有もしくは取得見込」でも可。また、免許を保有していなくても、「TOEFL・TOEIC」等の資格保有者であれば、受験可。	
60 大阪市																	
61 堺市	○										○	○					
62 神戸市	○										○	○					
63 岡山市																	
64 広島市																	
65 北九州市																	
66 福岡市																	
67 熊本市																	
68 豊能地区																	
合計		17	0	0	5	7	0	2	0	0	2	16	12	2	1	9	

(注)合計については、実施した区市の実数である。

1.1 試験区分②③

区分 区市名	中学校の全てまたは一部の教科について『小・中一括』で募集を行っている												中学校の全てまたは一部の教科について『中・高一括』で募集を行っている											
	○の場合の特定の教科												○の場合の特定の教科											
	全教科	国語	社会	算数（数学）	理科	音楽	図工（美術）	家庭	体育	外国語（英語）	その他	具体的に	全教科	国語	社会（地歴公民）	数学	理科（物化生地）	音楽	美術	家庭	体育	外国語（英語）	その他	具体的に
01 北海道																								
02 青森県																								
03 岩手県																								
04 宮城県													○					○	○	○	○			
05 秋田県																								
06 山形県																								
07 福島県																								
08 茨城県																								
09 栃木県																								
10 群馬県	○	○																						
11 埼玉県	○				○					○			○		○	○	○	○	○	○	○	○		
12 千葉県													○		○	○	○	○	○	○	○	○		
13 東京都	○					○	○						○		○	○	○	○	○		○	○		
14 神奈川県																								
15 新潟県													○	○										
16 富山県													○	○										
17 石川県													○	○										
18 福井県													○	○										
19 山梨県																								
20 長野県																								
21 岐阜県																								
22 静岡県																								
23 愛知県																								
24 三重県																								
25 滋賀県																								
26 京都府																								
27 大阪府	○										○	小中いきいき連携(小学校と中学校の両方の免許所有者を対象とする校種枠)												
28 兵庫県																								
29 奈良県																								
30 和歌山県													○					○	○	○	○			
31 鳥取県																								
32 島根県																								
33 岡山県																								
34 広島県																								
35 山口県																								
36 徳島県																								
37 香川県																								
38 愛媛県																								
39 高知県																								
40 福岡県																								
41 佐賀県																								
42 長崎県																								
43 熊本県																								
44 大分県																								
45 宮崎県																								
46 鹿児島県																								
47 沖縄県																								
48 札幌市													○	○										
49 仙台市													○		○		○	○	○	○	○			
50 さいたま市													○	○										
51 千葉市													○		○	○	○	○	○	○	○			
52 横浜市													○	○										
53 川崎市													○	○										
54 相模原市																								
55 新潟市													○	○										
56 静岡市																								
57 浜松市																								
58 名古屋市													○		○		○	○	○	○	○	○		
59 京都市																								
60 大阪市																								
61 堺市																								
62 神戸市													○	○										
63 岡山市																								
64 広島市																								
65 北九州市	○	○																						
66 福岡市													○		○		○			○	○	○		
67 熊本市													○	○										
68 豊能地区																								
合計	5	2	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	19	11	6	3	5	5	8	7	7	8	6	0

(注) 合計については、実施した県市の実数である。

1.1 試験区分④⑤⑥

区分 区市名	中学校の一部の教科について『小・中・高一括』で募集を行っている							特別支援学校については 他の学校種とは別に 募集を行っている	募集の際に 特別支援学校教諭免 許状の所持または取得見込みで あることを条件としている	特別支援『学級』について別の区分で募集を行っている。						
	○の場合の特定の教科									○の場合の区分						
	音楽	図工（美術）	家庭	体育	外国語（英語）	その他	具体的に			含めて特別支援学校の区分に 募集を行っている	各学校種（小・中・高） の中で別の区分を設けて 募集を行っている	その他	具体的に			
01 北海道								○	○							
02 青森県								○								
03 岩手県								○	○							
04 宮城県																
05 秋田県								○	○							
06 山形県								○	○							
07 福島県								○	○							
08 茨城県								○	○							
09 栃木県								○	○	○			○	（小・中）の中で別の区分を設けて特別選考を実施。		
10 群馬県								○	○							
11 埼玉県								○	○							
12 千葉県								○								
13 東京都	○			○				○								
14 神奈川県								○	○							
15 新潟県								○								
16 富山県								○								
17 石川県								○	○							
18 福井県								○								
19 山梨県								○	○							
20 長野県																
21 岐阜県								○	○							
22 静岡県								○								
23 愛知県								○	○							
24 三重県								○	○							
25 滋賀県								○	○							
26 京都府								○	○							
27 大阪府								○	○							
28 兵庫県								○	○							
29 奈良県								○	○							
30 和歌山県								○	○							
31 鳥取県								○	○							
32 島根県								○		○			○	小・中学校で特別支援教育を担当する教員を募集		
33 岡山県								○	○							
34 広島県								○								
35 山口県								○								
36 徳島県								○	○							
37 香川県								○	○							
38 愛媛県								○	○							
39 高知県								○	○							
40 福岡県								○	○							
41 佐賀県								○	○							
42 長崎県								○	○							
43 熊本県								○								
44 大分県								○	○							
45 宮崎県								○	○	○			○	「小学校特別支援」については、特別支援学校普通免許状を所持する者が対象で、小学校において主に特別支援教育に専門的に携わる		
46 鹿児島県								○	○							
47 沖縄県								○								
48 札幌市								○	○	○	○					
49 仙台市																
50 さいたま市								○		○			○	「特別支援教育担当教員」という志願区分を設定して募集を行っている。		
51 千葉市								○								
52 横浜市								○	○							
53 川崎市								○								
54 相模原市										○			○	小中学校に特別支援の枠を設けて募集を行っている。		
55 新潟市								○								
56 静岡市																
57 浜松市										○			○	発達支援推進教員（小・中）区分（小・中学校において主に発達支援教育（特別支援教育）に携わる教員。通常級の学級担任を行うこともある）を設けている。		
58 名古屋市								○								
59 京都市								○	○							
60 大阪市								○					○	中学校のみ、特別支援学級の募集を行っている。		
61 堺市																
62 神戸市								○	○							
63 岡山市																
64 広島市								○								
65 北九州市								○								
66 福岡市								○	○							
67 熊本市										○			○			
68 豊能地区																
合計		1	0	0	1	0	0	0		58	38	8	1	1	7	

(注)合計については、実施した区市の実数である。

1.2 地域枠を設けた選考の実施

区分 県市名	小	中	高	特支	養教	栄教	いずれかが○の場合、地域枠の具体的な内容
01 北海道	○	○					採用後、特定の地域での勤務を条件とする。(ただし、原則として採用後4年間は、当該地域以外の地域で勤務する。)
02 青森県							
03 岩手県							
04 宮城県	○						東日本大震災の被災地を含む地域(気仙沼教育事務所管内及び東部教育事務所管内)や講師不足が特に顕著な地域(北部教育事務所管内)で採用後10年程度同地区に勤務することを希望する方を対象とした選考
05 秋田県							
06 山形県							
07 福島県	○	○	○		○		「奥会津採用枠」と「相双採用枠」を設定。採用後は同地区に10年程度勤務する。
08 茨城県							
09 栃木県							
10 群馬県							
11 埼玉県							
12 千葉県							
13 東京都							
14 神奈川県							
15 新潟県	○	○					(回答なし)
16 富山県							
17 石川県							
18 福井県							
19 山梨県							
20 長野県	○	○			○		・長野県内を4つのブロックに分け、ブロック毎の採用数を設定し、新規採用者を募集。 ・志願者は、4つのブロックのいずれかを「採用地ブロック」として選択。 ・新規採用者は、原則として「採用地ブロック」へ配置。
21 岐阜県			○	○			・採用後、郡上地域・恵那地域・飛騨地域のいずれの地域の学校でも10年程度勤務することが可能な者
22 静岡県							
23 愛知県							
24 三重県							
25 滋賀県							
26 京都府	○	○	○	○			北部採用枠・・・10年間程度は北部地域で勤務
27 大阪府							
28 兵庫県	○						播磨西(ただし、姫路市を除く)、但馬、丹波の各地域で、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、地域の教育課題を十分認識するなど、子どもたちのふるさと意識醸成にむけた教育を推進できる教員を確保するため、「小学校・特別支援学校区分」において、「採用地域希望優先制度」を実施している。出願時にこの制度を希望し、一定の成績で合格した者は、希望した地域の市町組合立学校での採用となる。(採用後において、当該地域で原則10年以上勤務することが採用の条件となる。) ※ この制度は、配置にあたって希望を優先するものであり、選考方法は一般選考と同様で、選考に際して有利となるものではない。また、「小学校・特別支援学校区分」の「小学校」で合格した場合のみ適用となる。
29 奈良県							
30 和歌山県							
31 鳥取県							
32 島根県	○	○	○				石見地域(大田市・江津市・浜田市・益田市・邑智郡・鹿足郡) 隠岐地域(隠岐郡)
33 岡山県	○	○			○		指定した地域で採用後10年以上勤務可能な者であることを条件としている。
34 広島県							
35 山口県							
36 徳島県							
37 香川県							
38 愛媛県							
39 高知県	○	○					中山間地域
40 福岡県							
41 佐賀県	○	○			○		採用から8年間は離島のある唐津市での勤務とし、その間に離島配置を行う。
42 長崎県	○						採用してから10年連続して、原則同一離島市町に勤務する制度。
43 熊本県							
44 大分県							
45 宮崎県	○	○			○	○	採用時から、指定するエリア内での異動希望者は、その後、そのエリア内での異動が可能となるよう考慮する。
46 鹿児島県							
47 沖縄県							

区分 県市名	小	中	高	特支	養教	栄教	いずれかが○の場合、地域枠の具体的な内容
48 札幌市							
49 仙台市							
50 さいたま市							
51 千葉市							
52 横浜市							
53 川崎市							
54 相模原市							
55 新潟市							
56 静岡市							
57 浜松市							
58 名古屋市							
59 京都市							
60 大阪市							
61 堺市							
62 神戸市							
63 岡山市							
64 広島市							
65 北九州市							
66 福岡市							
67 熊本市							
68 豊能地区							
合計	13	10	4	2	5	1	

(注)合計については、実施した県市の実数である。

1.3 学校種間または特定教科に関する併願受験の実施（養護教諭・栄養教諭を除く）

区分 縣市名	中 学 校 の 受 験 者 の う ち 希 望 し た 者 に つ い て 小 学 校 の 併 願 を し 可 能 と し て い る	特 別 支 援 学 校 の 受 験 者 の う ち 希 望 し た 者 に つ い て 小 学 校 の 併 願 を 可 能 と し て い る	そ の 他	具体的に
01 北海道			○	小学校と特別支援学校 小学部 中学校と特別支援学校 中学部（同一教科） 高等学校と特別支援学校 高等部（同一教科）
02 青森県			○	・小学校又は特別支援学校小学部の受験者は、第二志望としてそれぞれ特別支援学校小学部または小学校の併願を可能としている。 ・中学校又は特別支援学校中学部（高等学校又は特別支援学校高等部）の受験者は、同一教科（科目）について受験する場合に限り、第二志望としてそれぞ れ特別支援学校中学部又は中学校（特別支援学校高等部又は高等学校）の併願を可能としている。
03 岩手県	○		○	小学校の受験者のうち希望したものについて中学校の併願を可能としている
04 宮城県			○	中学校及び高等学校の国語、数学、英語で中学校出願者が高等学校を、高等学校出願者が中学校を第二志望することができる。中、中・高、高等学校出願者 で、免許取得または見込の者が小学校配置を希望することができる。
05 秋田県				
06 山形県			○	小学校及び特別支援学校小学部の両方を志願する者は併願を可能としている。 中学校及び特別支援学校中学部の両方を志願する者は、同一教科について受験する場合に限り、併願を可能としている。
07 福島県	○		○	・中学校の国語、数学、英語の志願者は、高等学校の同一教科の併願を認めている。 ・高等学校の国語、数学、英語の志願者は、中学校の同一教科の併願を認めている。 ・小学校、中学校の志願者の志願者で、特別支援学校教諭免許を有している場合、特別支援学校を第二志望とすることを認めている。
08 茨城県	○			
09 栃木県			○	小学校の受験者のうち希望した者について中学校の併願を可能としている。中学校の受験者のうち希望した者について小学校の併願を可能としている。
10 群馬県				
11 埼玉県				
12 千葉県	○	○	○	全ての学校種受験者について、小学校及び特別支援教育の併願を可能としている。
13 東京都			○	特別支援学校小学部の受験者のうち希望した者について小学校全科の併願を可能としている。
14 神奈川県				
15 新潟県				
16 富山県				
17 石川県			○	・小学校教諭又は特別支援学校教諭等(小学部)の志願者で、両方の受験資格を有する者は、第2希望としてそれぞれ特別支援学校教諭等(小学部)又は小学 校教諭等を併願することができる。 ・中学校教諭等及び高等学校教諭等又は特別支援学校教諭等(中学部・高等部)の志願者で、両方の受験資格を有する者は、第2希望としてそれぞれ特別支 援学校教諭等(中学部・高等部)又は中学校教諭等及び高等学校教諭等を併願することができる。
18 福井県	○	○		
19 山梨県	○		○	小学校の受験者のうち希望した者について中学校(全教科)の併願を可能としている
20 長野県				
21 岐阜県	○			
22 静岡県	○		○	小学校の受験者のうち希望した者について、特別支援学校の併願を可能としている。
23 愛知県				
24 三重県				
25 滋賀県	○		○	小学校教員に出願し、中学校教員を第2志望とすることを可能とする。高等学校教員に出願し、特別支援学校教員を第2志望とすることを可能とする。特別支 援学校教員に出願し、高等学校教員を第2志望とすることを可能とする。
26 京都府	○		○	高等学校受験者のうち、希望者について中学校の同一教科の併願を可能としている(高等学校の地歴・公民と中学校の社会は同一教科とみなす)。中学校受 験者のうち、希望者について高等学校の同一教科の併願を可能としている(美術、家庭のみ)。
27 大阪府			○	『小学校』と『小中いきいき連携』『中学校』と『中学部』:募集教科のすべてで『支援学校』併願可。『高等学校』と『高等部』:「書道」「工業(機械、電気)」「看護」を 除くすべての教科(科目)で併願可。『中学校』と『高等学校』、『中学部』と『高等部』:「国語」「数学」「音楽」「美術」「家庭」「英語」のみ併願可。
28 兵庫県		○	○	「中学校・特別支援学校区分(国語・数学・保健体育・音楽・美術・英語・家庭)」および「高等学校区分(国語・数学・保健体育・音楽・美術・英語・家庭)」の受験 者のうち当該免許を持つ者は、第2希望として「高等学校区分(国語・数学・保健体育・音楽・美術・英語・家庭)」または「中学校・特別支援学校区分(国語・数 学・保健体育・音楽・美術・英語・家庭)」を希望することができる。また、「養護学校区分」の受験者のうち高等学校看護の免許を持つ者は、第2希望として「高 等学校区分」の看護を希望することができる。
29 奈良県				
30 和歌山県				
31 鳥取県	○	○	○	上記以外に、 ・小学校の受験者のうち希望した者について中学校又は特別支援学校の併願 ・特別支援学校の受験者のうち希望した者について中学校又は高等学校の併願 ・小学校、中学校又は高等学校の受験者のうち希望した者について特別支援学校の併願を可能としている。
32 島根県				
33 岡山県			○	中学校と高等学校の国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科(科目)において、同一の教科(科目)について併願受験を認めている。
34 広島県				
35 山口県	○		○	・特別支援学校(小学部、中学部)の受験者のうち希望した者について小学校の併願可 ・中学校音楽の受験者のうち希望した者について特別支援学校中学部音楽の併願可 (校種を逆にした組合せによる併願も可、また音楽の他に美術も同様に実施) ・高等学校芸術(音楽)の受験者のうち希望した者について特別支援学校高等部芸術(音楽)の併願可 (校種を逆にした組合せによる併願も可、また音楽の他に美術も同様に実施) ・スポーツ・芸術特別選考において、中学校保健体育の受験者のうち希望した者について高等学校保健体育の併願可 (校種を逆にした組合せによる併願も可、また保健体育の他に音楽、美術も同様に実施)
36 徳島県			○	中学校「英語」に出願する者のうち、小学校教諭の免許状を有する者は小学校を併願できる。高等学校の各教科に出願する者のうち、高等学校「情報」の免許 状を有する者は、高等学校「情報」に併願できる。
37 香川県	○			
38 愛媛県				
39 高知県			○	高等学校教諭「数学」は、中学校教諭「数学」を、また、高等学校教諭「理科」は、中学校教諭「理科」 を、それぞれ第2希望とすることができます。 ただし、「2 受審資格」に定める中学校教諭の該当教科の普通免許状を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者に限ります。 高等学校教諭「数学」又は「理科」については、特別支援学校中学部・高等部教諭「数学」又は「理科」を第2希望とすることができます。ただし、「2 受審資格」 (1)⑤を満たす者に限ります。
40 福岡県	○		○	高等学校の受験者のうち希望した者について中学校の併願を可能としている。
41 佐賀県	○			
42 長崎県	○			
43 熊本県	○		○	高等学校の受験者のうち希望した者について特別支援学校(学級)の併願を可能としている
44 大分県			○	国語、数学、音楽、美術、保健体育、家庭、英語において中学校と高等学校の併願可 特別支援学校教諭において小学部、中学部、高等部のうち2つの併願可 算数・数学、理科、音楽、保健体育、英語において小中学校連携と中学校の併願可
45 宮崎県	○	○	○	小学校英語、小学校特別支援、小学校体育と小学校全教科の併願を可能としている。
46 鹿児島県	○	○	○	全ての校種において、出願時に、小・中・高・支の校種を第3希望まで記述している。
47 沖縄県				

区分 区市名	中 学 校 の 受 験 者 の う ち 希 願 し た 者 と し て い る	特 別 支 援 学 校 の 受 験 者 の う ち 希 願 し た 者 と し て い る	そ の 他	具体的に
48 札幌市				
49 仙台市				
50 さいたま市				
51 千葉市	○	○	○	全ての学校種受験者について、小学校及び特別支援教育の併願を可能としている。
52 横浜市				
53 川崎市				
54 相模原市				
55 新潟市				
56 静岡市			○	特別支援学級担任、又は、通級指導教室担当を採用する特別支援教育推進枠「小学校教員B、中学校教員B」受験者は、通常学級を担任する「小学校教員A、中学校教員A」との併願受験が可能です。
57 浜松市			○	小学校と中学校、小学校と発達支援推進教員(小学校)、中学校と発達支援推進教員(中学校)の各併願を可能としている。
58 名古屋市	○			
59 京都市	○	○	○	【出願区分】 ア 小学校教諭(小学校英語教育推進コース小学校理科教育推進コースを含む)うち、幼稚園 若干名 イ 中学校教諭 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語 ウ 高等学校教諭 国語・地理歴史・数学・理科(物理, 化学, 生物)・音楽・英語・情報・工業(機械, 電気・電子, 土木) エ 総合支援学校教諭(小学校, 中学校, 義務教育学校の特別支援学級を含む) オ 養護教諭 カ 栄養教諭 【併願について】 ア～エの出願区分について、「各出願区分(イ、ウは教科の区分)に相当する普通免許状を現に有するか令和5年4月1日までに取得見込みの方」は、該当する出願区分のうち、1校種又は2校種までの併願が可能。エは、「採用日時点で特別支援学校の普通免許状を有しない方」でも併願が可能。ただし、受験者本人の責に帰さないやむを得ない事由を除き、採用後3年以内に必ず特別支援学校の普通免許状(知的・肢体不自由・病弱の3領域のうち、いずれかの領域)を取得することを出願条件とする。
60 大阪市				
61 堺市				
62 神戸市				
63 岡山市				
64 広島市				
65 北九州市	○	○	○	・複数免許所有者特別選考を実施している。小学校教員の志願者のうち中学校免許、特別支援学校免許を所有するものは、それぞれ中学校(特別選考の対象となる免許状の教科)、特別支援学校(小学部)に併願可能。中学校教員の志願者のうち、小学校免許、特別支援学校免許を所有するものは、それぞれ小学校、特別支援学校(中学部)に併願可能。特別支援学校(小学部)志願者のうち、中学校免許を所有するものは、中学校(特別選考の対象となる免許状の教科)に併願可能。 特別支援学校(中学部)志願者のうち、小学校免許を所有するものは、小学校に併願可能。・特別支援学校の志願者は、学部に相当する試験区分(小学校又は中学校)を併願することができる。
66 福岡市				
67 熊本市				
68 豊能地区				
合計	23	9	31	

(注)合計については、実施した区市の実数である。

1.4 出願受付期間・受付方法・試験実施日・採用内定時期

区分 県市名	出願期間												試験実施日												採用内定等時期					出願受付方法				
	3月			4月			5月			6月			6月			7月			8月			9月			9月	10月	11月	12月	その他	Web 受付のみ	書類 郵送のみ	Web は 書類 郵送 も し く	Web 書類 郵送 (一部)	その他
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬													
01 北海道											①					②								○								○		
02 青森県														①						②				○					○					
03 岩手県														①				②					○						○					
04 宮城県														①						②				○				○						
05 秋田県														①						②				○						○				
06 山形県														①						②				○					○					
07 福島県														①						②				○					○					
08 茨城県												①						②						○								○		
09 栃木県															①				②					○								○		
10 群馬県															①				②		②			○								○		
11 埼玉県																①			②					○							○			
12 千葉県															①				②		②				○				○					
13 東京都															①				②					○							○			
14 神奈川県															①				②											○				
15 新潟県														①					②					○								○		
16 富山県																	①			②					○					○				
17 石川県																		①						○										
18 福井県															①				②					○							○			
19 山梨県															①				②					○										
20 長野県															①				②						○	○	○	○				○		
21 岐阜県																	①		②					○					○					
22 静岡県															①			②		②					○	○				○				
23 愛知県																	①		②		②			○							○			
24 三重県																	①		②					○								○		
25 滋賀県																①			②						○							○		
26 京都府															①				②					○								○		
27 大阪府															①		②			③					○	○						○		
28 兵庫県															①				②					○								○		
29 奈良県															①				②								○	○				○		
30 和歌山県															①				②					○								○		
31 鳥取県													①							②				○					○					
32 島根県																①			②						○	○				○				
33 岡山県																①			②							○					○			
34 広島県																		①		②				○							○			
35 山口県																①			②						○	○						○		
36 徳島県																	①		②					○								○		
37 香川県																	①		②					○					○					
38 愛媛県																		①		②				○							○			
39 高知県													①					②						○	○			1月				○		
40 福岡県																①			②						○						○			
41 佐賀県																①			②					○								○		
42 長崎県																①			②		②				○						○			
43 熊本県																①			②						○						○			
44 大分県																①			②				③			○				○				
45 宮崎県																①			②		②				○					○				
46 鹿児島県																①			②		②				○						○			
47 沖縄県																①					②			○						○				
48 札幌市													①						②						○							○		
49 仙台市																						②			○	○	○	○				○		
50 さいたま市																①			②					○								○		
51 千葉市																①			②						○					○				
52 横浜市																①			②						○					○				
53 川崎市																①			②		②				○						○			
54 相模原市																①			②					○	○	○	○				○			
55 新潟市																①			②						○							○		
56 静岡市																①			②						○							○		
57 浜松市																①			②					○								○		
58 名古屋市																		①		②				○						○				
59 京都市																																		

1.5 秋募集の特別選考等を別途実施

区分 区市名	秋募集の特別選考等を別途実施している場合	
	実施の有無	具体的に
01 北海道	○	選考名「追加選考検査」 対象者：(小学校)小学校教諭の普通免許状を所有し、令和5年度北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査(北海道採用希望)第1次検査に合格した者で、第2次検査のいずれか又は全部を受検しなかった者 (高等学校・特別支援学校)該当教科の普通免許状を所有し専門的知識・技術がある者又は該当の資格を所有し実務経験がある者など 受付期間：10/31～11/18 検査実施日：12/4 結果発表：1/6 検査内容：適性・論文・面接
02 青森県		
03 岩手県		
04 宮城県		
05 秋田県		
06 山形県		
07 福島県		
08 茨城県	○	選考名「スペシャリストを対象とした特別選考」Ⅱ期 郵送受付期間：10/3(月)～10/7(金)試験日：11/6(日) 試験内容：小論文・個人面接 結果発表：11/24(木)
09 栃木県		
10 群馬県		
11 埼玉県	○	「民間企業経験者特別選考試験(高校教員・英語)」 受付期間：8/12～9/16 対象者：英語を使用した業務に従事した勤務経験有、CEFR B2相当以上の英語の語学力有、免許不要(特別免許状) 試験内容：論文・面接 「ALT・CIR経験者特別選考」 受付期間：9/29～10/14、対象者：英語が母語、ALT・CIRとしての経験有試験内容：面接
12 千葉県		
13 東京都		
14 神奈川県		
15 新潟県		
16 富山県		
17 石川県		
18 福井県		
19 山梨県		
20 長野県		
21 岐阜県	○	育児退職等をした者を対象とした再採用試験
22 静岡県		
23 愛知県		
24 三重県	○	令和5年度三重県立特別支援学校自立活動教員採用選考試験(令和4年12月11日(日)実施) 令和5年度の三重県立特別支援学校自立活動教員の採用にあたり、教員としての資質に富み、心身ともに健康で、特別支援学校における医療的ケアをはじめとする専門的な教育を、情熱と使命感をもって継続的に実施しようとする意欲をもつ人材を選考するために実施
25 滋賀県		
26 京都府		
27 大阪府		
28 兵庫県	○	令和5年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験(追加募集)高等学校工業(電気・電子、建築) 受付期間：10/13～10/26 受験対象者：令和5年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験を受験していない者 試験内容：第1次選考試験(集団面接試験及び筆記試験)、第2次選考試験(模擬授業・個人面接試験及び実技試験)
29 奈良県		
30 和歌山県	○	選考名「追募集」 受付期間：9/26～10/7。受験対象者①：今年度実施の当県採用試験(本試験)を受験していない者で、公立学校の教諭または、常勤講師として在職し、在職期間が通算3年以上の者。受験対象者②：今年度実施の当県採用試験(本試験)において、2次試験を欠席した者。試験内容：小論文・面接
31 鳥取県		
32 島根県	○	特別選考試験(年2回) 実施日：第1回5/4、第2回12/29 受験対象者：5年以上県外正規教員・通算5年以上県内外過去正規教員 試験内容：面接(場面指導含む)
33 岡山県		
34 広島県		
35 山口県		
36 徳島県		
37 香川県	○	令和4年10月15日(土)東京、10月16日(日)香川、10月23日(日)大阪 「秋募集」は、以下のいずれにも該当するものを募集する。 ・現に他の都道府県 ・指定都市の公立学校の教諭等(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む)の職にある者で、小学校又は中学校(全教科)の教諭を志願する者。ただし、出願時の職と同一の校種、教科に限り出願できることとする。 ・教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状を有する者又は令和5年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者・昭和38年4月2日以後平成7年4月1日以前に生まれた者 ・令和5年度香川県公立学校教員採用選考試験(令和4年7月～8月実施)を受験していない者
38 愛媛県	○	選考名「後期選考試験」 受付期間：8/29～9/14 試験実施日：10/8～10/9 合格発表：10月下旬 受験対象者：他県市現職経験者 試験内容：(小中)適性検査・小論文・面接、(高校)適性検査・模擬授業・面接 (特支)適性検査・場面指導・面接
39 高知県	○	選考名：「現職教員等特別選考」(年2回) 実施日：第1回9/3、9/10、9/11 第2回1/7、1/8 対象者：現職で職務歴が通算3年以上ある者、又は元職で職務歴が通算5年以上ある者 試験内容：面接審査
40 福岡県	○	選考名「現職教員特別選考」 受付期間：9/1～9/22 試験日：11月27日 受験対象者：県外在住の現職教員 試験内容：面接
41 佐賀県	○	選考名「佐賀県公立学校教員採用選考試験(秋選考)」 受付期間：9/26～10/21 募集：小学校教諭等 試験内容：筆記試験、面接(模擬授業を含む)
42 長崎県	○	名称：令和5年度長崎県公立学校教員採用特別選考試験 募集教科：高校水産、高校英語 試験日：令和4年12月18日(日) 試験内容：専門教科筆記試験及び個人面接 合格発表：令和5年1月13日(金)
43 熊本県		
44 大分県		
45 宮崎県	○	他県現職、本県・他県元職、障がいのある方を対象とした特別選考試験(追加選考試験)を1月に実施。
46 鹿児島県		
47 沖縄県		

区分 区市名	秋募集の特別選考等を別途実施している場合	
	実施の有無	具体的に
48 札幌市		
49 仙台市		
50 さいたま市	○	現職高等学校教員特別選考 試験日：7月23日（日） 試験内容：プレゼンテーション試験
51 千葉市		
52 横浜市		
53 川崎市		
54 相模原市	○	選考名「市外正規教員特別選考試験」 ・11月10日面接試験を実施 ・本市の受験資格に加え、次の3つを満たすもの。 (1)採用時から引き続き令和4 年度末まで相模原市外の国公立学校で正規採用（任期付採用を除く）の小中学校教員として勤務する予定の者。 (2) 令和5 年3 月31 日現在で3 年以上受験する区分での相模原市外の国公立学校正規教員としての勤務実績があり、該当教科の授業を主に行っている者。 (3) 相模原市立学校教員として令和5 年度から勤務することが第1 希望であり、令和5年4 月1 日付で相模原市立学校に勤務できる者。
55 新潟市		
56 静岡市		
57 浜松市		
58 名古屋市		
59 京都市		
60 大阪市		
61 堺市		
62 神戸市	○	選考名「特別選考」 受付期間：令和4年11月25日～12月19日 選考期間：令和5年1月6日～1月9日 選考結果：令和5年1月末 選考対象者：①一定の正規教員経験を有し出願時において教職についていない者 ②今年度の本市及び他都市の教員採用選考において、新型コロナウイルス感染等を理由に最終選考を受験できなかった者。 選考内容：小論文・面接・実技（実技のある科目のみ）
63 岡山市		
64 広島市		
65 北九州市	○	選考名「教職経験者特別選考（現職教員枠）」 受付期間：8/15～9/9、試験実施日：10/23、10/30 受験対象者：現職教員 試験内容：・面接
66 福岡市	○	・選考名「教職経験特別選考」 受付期間：2/14～3/7 受験対象者：本市講師等経験者 選考方法：講師等としての勤務成績・面接・選考名「大学連携特別選考」 受付期間：4/4～4/25 受験対象者：協定締結大学在学者で、一定の基準を満たす教育実習を実施した者 選考方法：書類選考・面接
67 熊本市		
68 豊能地区		
合計	20	

（注）合計については、実施した区市の実数である。

1.6 採用説明会・採用選考試験の実施場所

区分 県市名	採用説明会				採用選考試験を 自らの都道府県外 においても実施
	自らの都道府県内 において実施	近隣の都道府県 において実施	近隣の都道府県以外 の主要都市において実施	オンラインにて実施	
01 北海道				○	○
02 青森県	○		○	○	○
03 岩手県	○	○	○	○	
04 宮城県	○			○	○
05 秋田県					
06 山形県	○			○	
07 福島県					○
08 茨城県					○
09 栃木県	○	○		○	○
10 群馬県	○	○			
11 埼玉県	○	○	○	○	
12 千葉県	○	○	○	○	○
13 東京都				○	○
14 神奈川県	○		○		
15 新潟県	○				
16 富山県	○	○	○	○	
17 石川県	○	○	○	○	
18 福井県	○	○		○	
19 山梨県	○				
20 長野県				○	
21 岐阜県	○	○			
22 静岡県					
23 愛知県	○				
24 三重県	○	○	○	○	
25 滋賀県	○	○		○	
26 京都府				○	
27 大阪府	○	○		○	
28 兵庫県	○			○	
29 奈良県					
30 和歌山県					
31 鳥取県				○	○
32 島根県	○			○	○
33 岡山県	○	○	○	○	
34 広島県	○	○	○	○	
35 山口県	○	○		○	○
36 徳島県	○	○		○	
37 香川県	○	○	○	○	
38 愛媛県	○			○	○
39 高知県	○			○	○
40 福岡県	○	○		○	○
41 佐賀県		○			○
42 長崎県				○	○
43 熊本県	○	○	○	○	○
44 大分県				○	
45 宮崎県	○	○	○		○
46 鹿児島県	○	○			
47 沖縄県				○	
48 札幌市	○			○	○
49 仙台市	○			○	○
50 さいたま市	○	○		○	
51 千葉市	○	○	○	○	○
52 横浜市	○		○	○	
53 川崎市	○	○	○	○	○
54 相模原市				○	
55 新潟市	○				
56 静岡市	○	○			
57 浜松市	○				
58 名古屋市	○	○	○		
59 京都市	○			○	
60 大阪市				○	
61 堺市				○	
62 神戸市	○	○		○	
63 岡山市	○	○	○	○	
64 広島市	○	○	○	○	
65 北九州市	○	○		○	○
66 福岡市	○				
67 熊本市	○	○		○	○
68 豊能地区	○	○		○	
合計	50 (39)	33 (21)	19 (10)	48 (25)	24 (14)

(注1) 合計については、実施した県市の実数である。

(注2) ()内は前回調査の数値である。

区分 区市名	PR動画の作成		学校見学会(1～2日インターンシップ)の実施		いわゆる「教師養成塾」の実施				学習指導員やスクール・サポート・スタッフ等として教職課程を置く大学等の学生を活用	
	具体的な内容		具体的な内容		具体的な内容		対象校種		具体的な内容	
48 札幌市	○	札幌市と札幌の教育の魅力を発信するPR動画をYouTubeで配信。							○	市立小中高等学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童・生徒に対し、主に授業時間を対象として学習支援や安全確保を行う有償ボランティアに教員を志望する大学生を活用している。
49 仙台市	○	採用選考の主な変更点、特別選考、加点措置の説明	○	出身校等における最大5日間の学校インターンシップ						
50 さいたま市	○	さいたま市、さいたま市教育の魅力紹介・採用選考試験概要の説明			○	さいたま市教師塾『夢』講座	○	○	○	○
51 千葉市									○	「たまごプロジェクト」を実施し、大学3・4年生が現場で教師の補助をしながら実践的に学べるようにしている
52 横浜市	○	【動画】「先生になりたい」～高校生の教師体験記～			○	よこはま教師塾「アイ・カレッジ」	○	○		○
53 川崎市	○	Twitter、説明会パワーポイント動画、現場取材動画			○	かわさき教師塾「輝け☆明日の先生」	○	○	○	○
54 相模原市	○	現職教員のコメントを動画で配信した。	○	学校の様子をスライド動画で配信した。	○	さがみ風っ子教師塾	○	○		
55 新潟市	○									
56 静岡市					○	しずおか教師塾	○			
57 浜松市	○	現役教員のインタビュー動画を教員採用ホームページに掲載。								
58 名古屋市	○	名古屋市の魅力と教育の特色を紹介								○
59 京都市	○	現職教諭へのインタビュー動画の公開			○	京都教師塾	○	○	○	○
60 大阪市	○	採用テストにおける加点制度や教員になった後の研修制度等の説明			○	大阪市教師養成講座	○	○		
61 堺市	○	堺市の教育全般にかかわる動画と現職へのインタビュー動画			○	堺・教師ゆめ塾セミナー	○	○		
62 神戸市										○
63 岡山市										
64 広島市					○	ひろしま未来教師セミナー	○	○		
65 北九州市	○	教員の魅力・やりがい等を紹介			○	北九州教師養成みらい塾	○	○		○
66 福岡市										○
67 熊本市	○	ホームページに県外出身の教職員のPR動画を掲載								
68 豊能地区	○	豊能地区の求める人物像に関するもの			○	マチカネ先生塾(豊中市)、ふくまる教志塾(池田	○	○		
合計	42		6		26		26	21	12	14
									11	

(注) 合計については、実施した県市の実数である。

1.7 広報活動等の取組 ②

区分 県市名	教育公務員特例法第22条の7第1項に 規定する協議会の活用		教職課程を置く大学等との連携		高校生を対象とした取組		その他の広報活動の取組	
	具体的な内容		具体的な内容		具体的な内容		具体的な内容	
01 北海道	○	協議会において、選考検査の主な変更内容や受 検状況、登録状況等について情報提供し、意見聴 取している。	○	本免実習では体験が難しい「へき地・小規模校」で の多様な体験活動を通じて、教員のやりがいや地 域の魅力を再発見することで質の高い教職人材を 確保することを目的に「草の根教育実習」を実施。	○	高校生を対象とした小中学校等でのインターン シップの実施。高校生向け教員養成セミナーの実 施。令和4年度から北海道札幌北陵高等学校に 「北海道教員基礎コース」を設置。	○	養成大学からの求めに応じ、本道の教育の現状や 教員育成指標による「求める教員像」等を説明する 出前授業を実施。
02 青森県							○	例年4月下旬に、県内の大学や教職課程を置く大 学を中心に、実施要項及びPR用のポスターを配布 している。
03 岩手県							○	大学訪問
04 宮城県	○	定期的に協議会を実施し、情報交換を行なってい る。	○	包括連携協定を締結して連携している。	○	高校教育課主催の「教師を志す高校生支援事業」 での動画とメッセージ配信		
05 秋田県			○	次年度の受験対象者に向けたオンラインによる説 明会を実施			○	ポスター、リーフレットの作成・配付。
06 山形県					○	高校生向けインターン事業を実施(高校教育課主 催)	○	SNSによる情報発信、県内コンビニエンスストアへ のポスター掲出
07 福島県			○	福島大学と福島県教育委員会による連絡協議会 を設置し、教員の養成・採用・研修の一体化や教 職大学院の運営に係る研究及び協議を行う。	○	教育プログラムとしてのコース制(教育コース)を 導入。令和4年度導入校：橘、安積黎明	○	ポスター、パンフレット、チラシの作成及び配布、各 大学訪問及びオンラインによる採用試験説明会の 実施。また、教員採用関係雑誌への広告掲載、 Twitterでの情報発信。
08 茨城県			○	県内大学(3校)との連携講座を実施			○	教員PRマンガを県教委ホームページに掲載、採用 試験情報誌やSNSを利用した広報活動の実施
09 栃木県			○	県内の大学等での説明会の実施	○	高校生を対象とした説明会を実施	○	ホームページ、ツイッター、募集ポスター作成等 による情報発信
10 群馬県			○	採用説明会の際、教職についての啓発			○	県の広報誌への掲載
11 埼玉県			○	教職課程講座に県教委職員を派遣、大学生向け に説明を実施など	○	県内公立高校に出向き、主として高校2年生を対 象に教員志望者説明会の実施。		
12 千葉県					○	千葉女子高校(H26)、安房高校(H26)、我孫子 高校(H30)、君津高校(H30) 4校とも「教員基 礎コース」		
13 東京都			○	大学と連携した講義の実施			○	大学説明会、個別相談会、PR冊子の発行、マイ ページの開設
14 神奈川県			○	大学推薦の実施	○	高校生のための教職セミナー	○	大学説明会の実施、個別相談会の実施
15 新潟県			○	採用ガイダンスの実施	○	教員の魅力を伝える説明会の実施(予定)	○	教職課程を置かない大学での採用ガイダンスの実 施
16 富山県			○	教師養成塾における講師として教職大学院生を活 用				
17 石川県							○	ILAC(いしかわ就職・定住サポートセンター)を通じ て、学生や既卒の民間等就職者に、実施案内配付 開始の案内を配信
18 福井県								
19 山梨県	○	県総合教育センターが主催者となり、高校生、大学 生を対象に教員の魅力の発信と教員採用検査の 広報をオンライン方式により開催。	○	春秋の2回、教員の魅力の発信と教員採用検査 の広報を大学を訪問し開催。			○	県内及び、隣接県の教員養成課程を置く大学に教 員採用検査のポスター、パンフレットの送付
20 長野県			○	大学訪問による説明会	○	・県内4地区において高校生と若手教員のグルー プトーク、魅力説明、採用選考方法の説明 ・パンフレット「信州の先生になろう」の配付		
21 岐阜県			○	ガイダンスの実施	○	高校生のための教職説明会の実施。高校生によ るミニ教育実習の実施	○	パンフレットの作成・配付
22 静岡県			○	ガイダンスの実施 大学1年生を対象とした若手 教員による講話	○	中・高校生のための教職セミナー 静岡大学オー プンキャンパスでの教職セミナー		
23 愛知県					○	愛知県立半田東高等学校・教育コース・平成30年 度 愛知県立豊橋南高等学校・教育コース・平成30年 度		
24 三重県			○	情報交換を年に複数回実施				
25 滋賀県			○	近隣府県の大学において、教員採用選考試験の 説明会を開催。			○	教員募集のリーフレットを作成し、大学等に送付し たり、説明会にて配布。
26 京都府			○	春と秋に説明会を実施(出前orオンライン)	○	教職を目指す高校生に、小学校や中学校の授業 サポートや放課後の個別指導の機会を提供する 取組	○	ポスター、リーフレットの配付
27 大阪府								
28 兵庫県							○	大学生向け説明会(対面・オンライン、春と秋の2 回)の実施、大学担当者向け説明会(対面・オンラ イン)の実施、一般受験者向け採用試験説明会(対 面・オンライン、県内2会場、当日の様子をHPに動 画掲載)の実施
29 奈良県							○	受験者数の多い大学での説明会、ホームページへ のスライド掲載
30 和歌山県							○	教員募集案内パンフレットを各大学に配布。
31 鳥取県			○	島根大学との連携			○	ポスター、リーフレットの作成、新規採用職員をと つり教採アンバサダーとして委嘱しSNS等を活用し たPR、Youtubeに教員採用試験の説明動画を投稿
32 島根県			○	説明会の開催	○	説明会の開催	○	SNS、新聞等での教員募集の広報
33 岡山県			○	先輩教員との座談会	○	高校生向けに広報ポスターを配布、県教委ホーム ページに教職紹介のページを作成。	○	採用試験に関するホームページの充実、ポスター・ チラシの作成及び配付
34 広島県			○	出前講座	○	出前講座	○	採用パンフレットの作成
35 山口県	○	大学等と連携した教員の養成や採用及び現職教 員の育成のあり方に関することについて協議	○	山口県の教育、子どもたちの状況、採用試験の状 況等について情報提供するガイダンスを実施	○	教員の仕事の特色、免許状の取得方法、採用試 験の状況等の説明、現職教員との意見交換		
36 徳島県			○	大学訪問による説明会の実施			○	リーフレット配付
37 香川県					○	・県内17校で教職説明会を実施 ・坂出高等学校 教育創造コース 平成29年度設 置	○	・パンフレットを作成し、配付、県教委HPにも掲載。 ・大学訪問による説明会を実施 ・高校生を対象とした教員採用の説明会を実施
38 愛媛県							○	大学訪問
39 高知県			○	高知県公立学校教員採用候補者選考審査 解 説・勉強会【高知大学】、教員採用説明会			○	雑誌、テレビ・ラジオ番組、コンビニ等へのポスター 掲示
40 福岡県								
41 佐賀県			○	資料の送付および対面による説明会を実施	○	教師を志願する高校生を対象とした講話	○	WEBでの広報、SNSの利用、雑誌の企画広告 等
42 長崎県			○	県内及び近隣県の大学を訪問し、広報を行う。	○	高校主催の企業説明会等に参加し、教職のPR活 動を行っている。	○	リーフレット、新聞、ラジオ、SNS(Facebook, twitter)、店舗へのポスター掲示
43 熊本県			○	大学を訪問し説明会を実施			○	ポスター・パンフレットの作成・配付、ラジオ放送
44 大分県					○	県立普通科高校5校にて、希望生徒を対象にガイ ダンスを実施		
45 宮崎県					○	高校に出向き、就職ガイダンスの一環として説明 を行っている。	○	大型商業施設での試験案内イベント、採用試験特 設HPの作成
46 鹿児島県			○	大学訪問			○	市町村教育委員会の協力を得ながら、受験対象者 を探して、直接受験を勧めたり、商業施設等、広く 一般の方々に周知できるような箇所へのポスター 掲示を行ったりする。
47 沖縄県			○	沖縄県内に所在する7大学での説明会(対面、 On-line)			○	教員選考試験ポスターを県内大学へ配布

区分 区市名	教育公務員特例法第22条の7第1項に 規定する協議会の活用		教職課程を置く大学等との連携		高校生を対象とした取組		その他の広報活動の取組	
	具体的な内容		具体的な内容		具体的な内容		具体的な内容	
48 札幌市			○	道内の教員免許状が取得可能な大学と連携し、学内説明会を随時実施している。	○	教職に興味がある市立高校生を対象に、札幌市の教員の現状や魅力を伝える説明会を年に1回開催している。	○	動画の配信のほか、パンフレット・ポスターによるPRを行っている。
49 仙台市							○	市内公所や大学へのポスターの掲示依頼や、募集パンフレットの送付、ホームページやSNSを使っでの周知等
50 さいたま市							○	教育長定例記者会見による広報
51 千葉市			○	大学生向けの出前講座を実施し、教師の魅力や教員採用選考について話をしている				
52 横浜市	○	養成・採用・研修の一体化に向けた取組、教員の魅力を伝える取組の構築等	○	上記項目の具現化に向けた取組、学校体験活動や教育実習の受入等			○	パンフレット配布、大学等へのポスター掲示依頼
53 川崎市								
54 相模原市			○	大学説明会を実施した。	○	教員の魅力に関する説明会を相模原市内の高等学校を対象に実施した。	○	駅の掲示板や市内の広報誌に採用選考試験についての情報を掲載した。
55 新潟市	○	新潟市教職員育成協議会で教員の養成・採用・研修の一体的改革を進めるための意見交換を実施した。			○	高等学校で教職を希望する生徒に教員の魅力などをプレゼンした。	○	県内の教職課程をもつ大学での教員採用ガイダンスの実施
56 静岡市			○	静岡大学オープンキャンパスにおいて、「若手先生が語る教職の魅力」を大学・静岡市・浜松市・静岡県と連携して実施した。				
57 浜松市			○	県内外の大学を訪問し、ガイダンスを実施。	○	市内の高校を訪問し、ガイダンスを実施。	○	市公式ホームページ掲載やLINEにより、教員採用に関する情報を発信。現任教員のパネルディスカッション等、教員採用イベントの開催。ポスター・リーフレットの作成、市広報誌への掲載。ジオターゲティング広告。駅構内のデジタルサイネージ広告。
58 名古屋市			○	教員採用選考試験のパンフレットを送付	○	名古屋市立高校へ訪問し、教師という仕事について説明している。		
59 京都市			○	近畿圏を中心とした大学へ訪問し、就職担当者や学生向けの説明会を実施			○	公式LINEアカウントを活用した情報発信
60 大阪市							○	Twitterの活用
61 堺市			○	大学内で説明会を実施			○	YouTubeチャンネルを作成し、動画をアップしている。
62 神戸市								
63 岡山市			○	OB,OGを大学に招き、学生と交流			○	駅周辺にあるデジタルサイネージの活用、パンフレット、ポスターの作成と掲示
64 広島市	○	教師養成塾の取組紹介	○	出前講座	○	教職及び採用試験に関する説明会	○	採用パンフレットの作成
65 北九州市			○	大学訪問を実施し、教員採用試験等の説明会を行っている。大学と協定を締結し、市立学校において学生ボランティアの受け入れを行っている。			○	専用サイトを随時更新。SNS（Facebook、メルマガ）配信。
66 福岡市					○	パンフレット、クリアファイルの作成	○	パンフレットの作成
67 熊本市								
68 豊能地区			○	大学等推薦者対象の選考について、連携協定大学は推薦可能人数を増やしている。			○	教員採用や受験説明会のポスター・リーフレットの作成・掲出
合計	7		44		30		49	

(注)合計については、実施した区市の実数である。